

県内初の公立夜間中学校が2019年4月開校決定

教育機会確保法が成立し、文科省が、夜間中学校を各都道府県に1校以上設置する方針を打ち出したことを受け、公明党は党を挙げ夜間中学校の開設など学び直し場の場づくりを推進し、不登校や様々な事情で授業を十分に受けることができずに中学校を卒業した方々のためにも夜間中学校の設置を求めて参りました。首都圏1都3県で、公立夜間中学校が設置されていないのは埼玉県のみで、さらに川口市には3万人を超える外国人が暮らしており、日本語習得を始め生活に適用できるよう支援していくことは多文化共生社会の観点からも重要であり、さらに学び直したいと考えている方のためにも、国・県・市が連携し、川口議会での一般質問でも早期開設を求めて参りました。その結果、奥ノ木市長より開校に向けた準備をしているとの答弁を引き出し、設置が実現しました。



ヘルプカードの配布が決定

ヘルプカードとは、障害のある方や病気を抱えている方が、自分から「困った」「助けてほしい」など、うまく伝えられない時にカードを見せることで、周囲の方に手助けや配慮をお願いしやすくするためのカードです。平成29年3月議会で取り上げ、また市長への要望も行い早期導入を訴えてきましたが、この度、ヘルプカードの配布が決定し、現在、障害福祉課、駅前行政センター、各支所で配布されています。



川口市HPより転載

問い合わせは、川口市役所福祉部障害福祉課 電話048-259-7678(直通)

市内道路照明灯のLED化を推進

平成24年12月議会からリース方式による道路照明灯のLED化の推進を訴えてきましたが、今年度より実施されます。平成27年度末時点での道路照明灯のLED化率は約7.2パーセントでありましたが、市が管理する道路照明灯約3万4,000基のうち、小型照明灯を対象として約2万2,000基の借り上げにより、LED化率は約75パーセント程度になります。LED化されることにより、二酸化炭素の排出量の削減効果が期待でき、さらに費用面での削減効果も期待されます。

実績



UR川口朝日町住宅交差点危険な交差点の改良



東領家2-9-5近辺危険交差点への注意喚起



東領家花の枝橋交差点路面の舗装



東領家小学校グラウンド脇の道路改修



元郷3-2-1門樋下バス停付近道路照明灯の設置



新朝日橋のたもと自転車通行のための歩道改良と注意喚起



朝日3-15-20一方通行の路面表示

お気軽にご相談ください。

え ぶくろ
川口市議会議員 江袋まさのり

tel/fax 048-259-0081

川口市幸町 2-12-24-303

江袋まさのり

検索



川口市議会議員

公明党川口市議団

— 抜群の行動で未来を拓く —

え ぶくろ

【No.28】

江袋まさのり ニュース

平成30年度予算要望書を奥ノ木市長に提出

平成29年11月に平成30年の予算要望を奥ノ木市長に提出しました。

1. 防災・減災ニューディール政策の推進、2. 徹底した行財政改革、3. 防犯対策・通学路を中心に交通安全対策の強化、4. 子育て支援の充実、5. 福祉施策の充実、6. 健康増進のための医療体制の充実など16の大項目からなる要望書を提出しました。

※詳細項目は市議団HPにてご確認ください。



安全・安心で「住みたいまち川口」をめざして！

- 1 防災・減災ニューディール政策の推進**
 - 女性防災リーダーの養成講座開設
 - ＬＧＢＴ対象者の避難の支援
 - 学校校舎間通道の耐震化
 - 災害時要援護者の支援強化
 - 福祉避難所における防災訓練の実施
 - 自主防災組織の強化と補助金の拡充
 - デジタル化防災無線の難聴エリアの増設
 - 道路陥没の調査および対策
 - 浸水被害時の垂直避難訓練の実施
- 2 徹底した行財政改革の推進**
 - マイナンバーカードの普及促進
 - 電子自治体の推進で市民の利便性の向上
 - 川口市土地開発公社の債務額の削減
 - 公有財産の有効活用（未利用地の処分）
- 3 防犯対策・通学路を中心に交通安全対策の強化**
 - 町会・自治体に防犯カメラ設置費助成の継続
 - 町会向け防犯カメラのメンテナンス費用助成
 - 私道に接する危険交差点にカーブミラー設置
 - 川口北部に警察署の早期設置
- 4 子育て支援の充実**
 - 行政連携型婚活支援事業の実施
 - 不妊専門相談センターの設置
 - 不育症治療の助成
 - 産前産後ケアの充実
 - 保育所の更なる増設
- 5 福祉施策の充実**
 - コミュニティ食堂の開設支援
 - 地域包括支援センターの充実
 - 介護予防事業の拡充
 - 孤独死対策・見守り支援の推進
 - 農業連携による障害者雇用の支援
- 6 健康増進のための医療体制の充実**
 - 健康マイレージ制度の導入
 - リハビリ病床の増床・拡充
 - おたふくかぜワクチン接種費用に助成
- 7 市民サービスの充実で住み続けたいまちづくり**
 - 川口自然公園にドッグランの設置
 - 住民票等証明書のコンビニ交付の導入
 - 市民ニーズに対応した交通網の充実
- 8 文化・芸術・スポーツ振興で賑わいのある豊かなまちづくり**
 - 市営美術館の設置
 - 国際交流の充実
- 9 教育改革の推進**
 - 英語のまち川口を目指した施策の推進
 - 特別支援学級の設置拡充
 - 肢体不自由児の特別支援学校の設置
- 10 人権擁護と生命尊重のまちづくり**
 - ＬＧＢＴ相談窓口の設置
 - 配偶者暴力対策の推進
- 11 人と動物との調和のとれた共生のまちづくり**
 - 動物の愛護に関する条例制定
 - 殺処分0の推進
- 12 中小企業振興策・雇用対策の推進**
 - ビジネスサポーターセンターの設置
 - 地域貢献認定事業者制度の拡充
- 13 都市基盤整備の推進**
 - 神根運動場（10万㎡）の有効活用
 - JＲ川口駅の整備（駅舎建て替え・中距離電車停車）
- 14 火葬施設・安行霊園の整備**
 - 小動物用火葬炉の設置
 - 市営安行霊園の整備・トイレ改修
- 15 新庁舎建設の整備**
- 16 環境にやさしいまちづくりの推進**

平成29年12月議会で一般質問に登壇!!



平成29年12月議会の一般質問に通算17回目の登壇を致しました。

今回も市民の方から頂いたご要望を交えながら、公会計改革、教育、福祉、安全・安心、医療、健康スポーツ等について20項目からなる質問を致しました。この代表的な質問を掲載します。

これからも市政発展のための建設的な質問を行って参ります。

1 伊奈サミットの開催について

Q 伊奈氏と関係のある伊奈町・つくばみらい市と伊奈サミットを開催してはどうか。

A (市長答弁) 議員提案の伊奈氏にゆかりのある2市1町が協力して伊奈サミットを開催することは、関東地域の発展の礎となる数々の偉業を成し遂げた郷土の偉人、伊奈氏についてそれぞれが歴史的に位置づけてきた多くの業績を改めて共有する機会となり、今後、伊奈氏を顕彰していくうえで有益であると認識していることから、今後、開催について関係自治体と意見交換をしていく。

2 野良猫への不妊去勢手術費助成制度について

Q 野良猫への不妊去勢手術費について、具体的な助成内容については。

A 制度の創設に向けて具体的な検討を重ねているが、助成額については、1頭当たりメス9千円、オス5千円程度とする方向で、現在編成中の平成30年度当初予算に盛り込んでいきたいと考えている。

3 日本一の英語のまち川口を目指して

Q 本市で小学校1年生から英語教育を取り入れてみてはどうか。

A 低学年からの英語教育については、3・4年生の

外国語指導との系統性を図る観点から、3・4年生の学習及び充実を図り、その結果を踏まえたうえで研究していく。

4 (仮称)健康ギフトボックスについて

Q 介護ギフトボックスのようなメニューを40歳以上のために作ってはどうか。

A 幅広い年齢層を対象とした健康づくりの取り組みとしては、川口健康フェスティバルや健康に関する出前講座、運動教室などを実施しているほか、いわゆる健康ポイント事業についても、現在、調査研究を進めている。議員の提案も参考にしながら、引き続き本市にあった健康づくりの事業について前向きに取り組んでいく。

5 おたふくかぜワクチン費用助成制度について

Q おたふくかぜワクチン費用助成の具体的な助成内容については。

A (市長答弁) 現在は、保護者の判断で実施する任意接種であるが、自然感染による合併症とワクチン接種による副反応の頻度などを比較・検討され、接種する方が一定数いることから、若い世代に選ばれるまち、安心して子育てできるまちの実現に向け、保護者の負担軽減を図るため、中核市移行を機に、おたふくかぜワクチン接種費用の助成を実施していく。具体的な助成については、3千円程度とする方向で、現在編成中の

平成30年度当初予算案に盛り込んでいく考えである。

6 リハビリ病院について

Q リハビリに特化しても良いと考えている病院も市内にあるが、市として必要となる病床の確保、補助金などのバックアップについての考えは。

A 県は必要病床数を達成する方策等を推進するための南部地域保健医療・地域医療構想協議会において、医療関係者や行政による協議をすすめていることから、引き続き地域実情に応じた病床数の確保を働きかけていく。また、事業者への支援については、消費税増税分を財源として県が設置している地域医療介護総合確保基金の活用を県に求めていることなどを含め、本市の実情に即した最も効果的かつ合理的な方法を研究していく。

7 災害時におけるお湯等飲料確保のための災害協定について

Q 災害時に避難所や病院等において、お湯等飲料を提供できる災害型紙コップ式の自動販売機設置及び災害協定締結を検討してはどうか。

A 災害発生時において、避難所や病院等に災害対応型カップ自動販売機を臨時に提供いただくなどの協定の締結について、関係機関と調整を図りながら検討していく。

8 災害時のQ&A集の作成について

Q 災害時のQ&A集の作成について検討してみてはどうか。

A (市長答弁) 議員ご指摘のQ&A集の作成については、一日も早く市民の皆さんに被災前の生活に戻っていただくために、災害発生後に罹災証明書の発行等に関する情報や、公共料金、税金の支払い期限の延長に関する情報などの、生活再建に必要な情報を平時から市民の皆さんにわかりやすい形でお知らせしていくことが、重要であると考えている。が、行政が提供する情報にとどまらず、生命保険や損害保険など民間が提供する情報など多岐にわたるため、官民連携し、生活再建に必要な情報についてわかりやすく提供できる災害時のQ&A集の作成に向け調査研究していく。

9 スポーツセンター体育館へのスポットクーラーの設置について

Q スポーツセンター体育館へのスポットクーラーの設置について。

A 体育館観覧席へのスポットクーラーの設置については、熱中症予防対策の一環として、有効な手法の一つと考えている。まずは、施設の構造や夏季に行われる大会の時期、利用状況等について検討する中で、検討していく。

10 川口駅ロータリーのバリアフリー化について

Q 川口駅東口ロータリーのバリアフリー化の現状について

A バリアフリー化については、平成27年度に、より安全で使いやすい駅前広場のありかたについて、バリアフリーの視点から検討を行った。内容については、現在の駅前広場区域のほか、既存の建築物に影響を与えない範囲など、限られた条件の中で、エレベーターの増設やバス停の集約など道路交通施設の設置について、複数案を検討した。今後においては、この成果を踏まえ、駅周辺のまちづくり動向等を確認しながら、川口駅周辺地区のバリエーションについて研究を進める。

10 旧マルイ裏の再開発を含めた全体としての街づくりについて

Q 旧マルイ裏の再開発を含めた全体としての街づくりについてはどうか。

A 川口駅東口の整備計画は、現在、湘南新宿ラインの川口駅停車実現に向けて、JR東日本に要望をしており、これを見据えた計画が必要である。旧マルイ裏の再開発及び、これを含めた全体の街づくりについては、ご質問の趣旨も踏まえ、関係機関と連携し、今後も研究していく。

要望: 駅の拡張に伴う、マルイ裏跡地の再開発は今後、進んでいくと仄聞をしているが、東口のバリアフリー化は市民の方から頂く最も喫緊の課題である。駅の拡張をI期、マルイ裏跡地の再開発をII期、バリアフリー化をIII期として、全体計画とした上で、東口駅前ロータリーは早期に着工をしていく。その際にバス発着の仮設が大切になるので、キューポ・ラ広場を仮設として、バス発着場とする考えのもと、是非とも早期に取り組んで頂きたいと要望する。